

## 按分処理で得られた計測数の取扱いについて

## 1 経緯

第1回委員会で、委員から以下のような御意見があった。

「按分処理で得られた値をもとに初観測日、飛散開始日、飛散終息日、最大飛散日を判断することは、花粉情報標準化委員会の定義から外れており、適切ではない。このような方法は、東京都独自のものなので委員会資料や報道発表資料には注釈を付けるべきである。」

2 花粉情報標準化委員会における合意事項<sup>(1)</sup>

用語	定義
初観測日	1月1日より初めて小数点以下1桁の数が認められた最初の日
飛散開始日	1月1日より初めて連続2日以上1個 $\geq$ cm <sup>3</sup> 観測された最初の日
飛散終了日	飛散終了期に3日間連続して0個が続いた最初の日の前日

※最大飛散日は定義なし

## 3 現在の状況

## (1) 計測方法について

都	花粉情報標準化委員会 合意事項 <sup>(1)</sup>
多摩部の測定点では、土・日・祝日等はプレパラートを交換せず、休日明けの花粉計測数を日数で割って按分している。	スライド交換時間は原則として午前9時とし、 <u>毎日交換する</u> 。

※区部の測定点では、自動ダークラム測定器を使用して、プレパラートを土・日・祝日を含めて毎日交換している。

※平成30年度までは、区部の測定データから相関の高い区のデータを基に、休日の傾斜配分を行っていた。

引用元

- (1) 佐橋紀男・岸川禮子・西間三馨・長野準：日本における空中花粉測定および花粉情報の標準化に関する研究報告。日本花粉学会会誌 39(2), 129-134(1993)。

(2) 按分処理で得られた値を用いて判断している事例

ア 飛散開始日

按分処理で得られた値をもとに、令和2年春の立川の飛散開始日を「2月7日」と判断した。

実際の計測数

日付	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平
2/3 月	2.5	3.1	0	0.6	0.6	0	1.5
2/4 火	2.2	1.4	0.6	0.9	0	0.9	0
2/5 水	2.8	3.1	1.5	0	4	1.5	0.6
2/6 木	0	2.5	0	0	0.9	0.3	0.3
2/7 金	5.6	4.0	0.9	0.3	3.4	0.6	0
2/8 土	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
2/9 日	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
2/10 月	1.9	1.2	1.5	0	0.6	0.9	0
2/11 火	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
2/12 水	6.8	8.3	14.2	1.2	8.3	13.6	14.5
2/13 木	19.8	37.8	36.7	7.7	36.4	38.9	36.4

按分処理と飛散開始日（黄色）

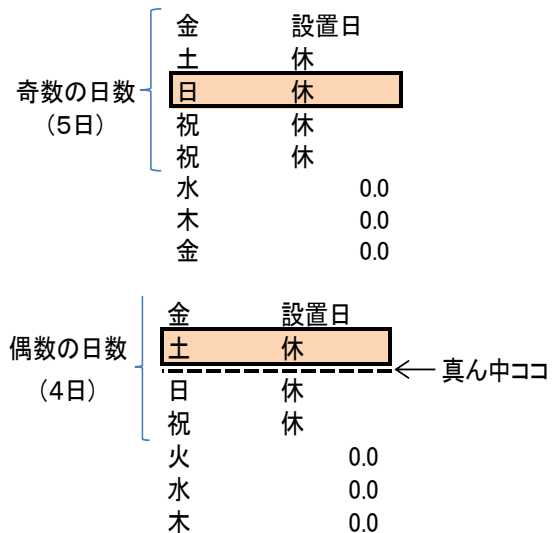
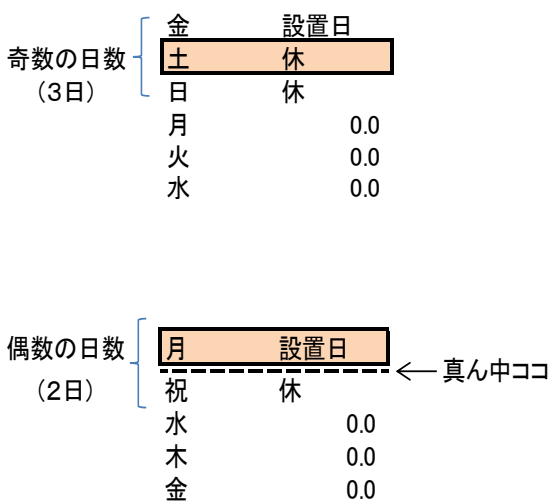
日付	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平
2/3 月	2.5	3.1	0	0.6	0.6	0	1.5
2/4 火	2.2	1.4	0.6	0.9	0	0.9	0
2/5 水	2.8	3.1	1.5	0	4	1.5	0.6
2/6 木	0	2.5	0	0	0.9	0.3	0.3
2/7 金	1.9	1.3	0.3	0.1	1.1	0.2	0
2/8 土	1.9	1.3	0.3	0.1	1.1	0.2	0
2/9 日	1.9	1.3	0.3	0.1	1.1	0.2	0
2/10 月	1.0	0.6	0.8	0	0.3	0.5	0
2/11 火	1.0	0.6	0.8	0	0.3	0.5	0
2/12 水	6.8	8.3	14.2	1.2	8.3	13.6	14.5
2/13 木	19.8	37.8	36.7	7.7	36.4	38.9	36.4

イ 飛散終息日

終息日の定義である「3日間連続して0が続いた最初の日の前日」が休日で確定できない場合は以下のとおりとしている。

令和2年春は、多摩（スギ）、立川（スギ）、府中（スギ、ヒノキ）町田（ヒノキ）の終息日が休日に重なった。

- 「0 個が続いた最初の日の前日」のデータがプレパラートで**奇数の日数**の花粉を捕集したものであった場合 → 真ん中の日を採用する。
- 「0 個が続いた最初の日の前日」のデータが、プレパラートで**偶数の日数**の花粉を捕集したものであった場合 → 真ん中の直前の日を採用する。



(3) 公表について

	公表方法
初観測日	公表していない。 ただし、飛散開始日を報道発表した際に、マスコミから質問があれば回答する。
飛散開始日	都内 12 地点（多摩部及び区部）で最も早い飛散開始日が確認できた時点で報道発表する。 その他の地点については、各地点の飛散開始日をHP（アレルギー情報navi）で公開する（令和2年春～）
最大飛散日・ 最大飛散数	公表していない。 ただし、「観測期間中最も飛散花粉数が多かった日＝ピーク」と定義したうえで、ピークに関してマスコミからの質問があれば回答する。
飛散終了日	観測終了日までに終息が確認できた地点のみ、「飛散終息日」として報道発表している。

4 提案

報道発表資料や委員会資料において、按分処理で得られた値を用いて判断した「飛散開始日」等については、全て注釈を付けることとする。注釈の案を以下に赤字で示す。

【飛散開始日】の記載案

◎ 各観測地点におけるスギ花粉の飛散開始日<sup>※1</sup>

千代田	葛飾	杉並	北	大田	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平
2月12日	2月12日	2月12日	2月12日	2月12日	2月3日	2月3日	2月12日	2月12日	2月7日 <sup>※2</sup>	2月12日	2月12日

※1 飛散開始日の定義

1月以降に1平方センチメートルあたり1個以上のスギ花粉を、2日以上連続して観測した最初の日が、その観測地点の飛散開始日となります（公益財団法人日本アレルギー協会 花粉情報標準化委員会の定義による）。

※2 多摩部の測定点では、土・日・祝日等は休日明けの花粉計測数を日数で按分して求め、その結果が※1の定義に該当した日を飛散開始日としている。

【飛散終息日】の記載案

観測地点 区市名	飛散花粉数			過去との比較		飛散終息日 <sup>※3</sup>		
	令和2年 <sup>※2</sup>	平成31年	過去10年 平均	平成31年 との比率	過去10年平均 との比率	スギ花粉	ヒノキ花粉	
スギ+ ヒノキ	千代田	H31 (R1)	H30	R2	#VALUE!	#VALUE!	4月9日	5月7日
	葛飾	6,789	11,465	2,419	0.6	2.8	4月5日	4月24日
	杉並	6,738	11,959	2,025	0.6	3.3	4月7日	5月6日
	北	7,882	14,614	3,436	0.5	2.3	4月14日	4月24日
	大田	6,261	11,707	2,173	0.5	2.9	4月8日	4月25日
	青梅	6,837	12,048	2,028	0.6	3.4	3月26日	4月23日
	八王子	6,660	31,092	4,422	0.2	1.5	4月9日	※4
	多摩	6,566	18,955	2,990	0.3	2.2	3月28日 <sup>※5</sup>	※4
	町田	4,692	14,197	3,651	0.3	1.3	4月16日	5月9日 <sup>※5</sup>
	立川	3,199	8,135	1,511	0.4	2.1	3月28日 <sup>※5</sup>	4月16日
	府中	3,595	10,569	1,710	0.3	2.1	4月18日 <sup>※5</sup>	4月18日 <sup>※5</sup>
	小平	4,619	8,451	2,260	0.5	2.0	4月21日	5月7日
都 平均	スギ	2,305	2,892	1,013	0.8	2.3		
	ヒノキ	723	3,040	298	0.2	2.4		
	スギ+ヒノキ	3,028	5,932	1,311	0.5	2.3		

※1 表中の数値は、端数処理をして表示している。

※2 飛散が終息した地点は終息日までの合計値、終息していない地点は5月13日までの暫定値

※3 飛散終息日とは、飛散終了時期に3日間連続して0個が続いた最初の日の前日

(空中花粉測定および花粉情報標準化委員会（平成6年）合意事項による。)

なお、飛散終息日後も微量の花粉が観測される場合がある。

※4 5月13日で飛散終息日が確定していない地点

※5 ※3に該当する日が休日のため、多摩部の測定点では、休日明けの花粉計測数を捕集日数で割って按分したうえで、飛散終息日を決定している。